連携のもと、

ひきこもり

詳細については、第2回定例会は、



子 量

# 地域包括支援センターに

## (自民公明クラブ)

氣 田

「高齢者のあんしん相談所」と

わかりやすい名称を

サブ看板を設置する

齢者の相談や支援を充実 であることが市民に周知 させたが、名称が難しく、 から3カ所に増設し、 括支援センターを1カ所 局齢者のための相談窓口 4月から地域包 布して周知したいと考え 場等でリーフレットを配 者が参加している事業の ています。 ています。 議員
今年度、

の入り口等、 あんしん相談所」という 足しては。 健康福祉部長「高齢者の 見やすいと 各センター

ころに設置するよう進め

十和田市東地域包括支援センター

新設された東地域包括支援センタ

#### わかるように名称をつけ で誰が利用できるのかが されていない。見ただけ

おり、対応に本腰を入れ 態を調査することとして 歳以上のひきこもりの実

課で、 り者の社会復帰支援をど のように進めるのか。 支援法に基づくひきこも ている。生活困窮者自立

保健師による個別

ルと進捗状況は。

観光商工部長

D

M

意識を高めている点です。

相談や支援ができ、

をもとに栄養や運動等の

設立に向けたスケジュー

十和田版DMO

健康増

進

健康福祉部長

市は、

乳

相談、 り、 ころの相談」を行ってお 行っています。 生活困窮に関する相談を ターとも連携をしていま ひきこもり地域支援セン また、 必要に応じて青森県 専門医による「こ 生活福祉課で 相談、福祉 各窓口の

高齢 の本人とその家族に寄 添った支援に努めていき

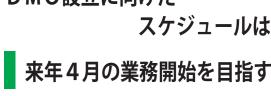
今後も、

児の違いを紹介している 祖父母手帳のような孫育 られている。 考えは。 てのハンドブックを作る 性の社会進出に、 による孫育て支援が求め 子育て世代の女 昔と今の育 祖父母

国 は 40

児家庭訪問の際に、 や個別相談をしたり、 査研究したいと考えて 他市の状況を踏まえ、 す。祖父母手帳については、 提供をしたりしていま 母に育児等に関する情報 家庭の状況に応じて祖父 師や助産師等による講話 母や保護者に対して保健 幼児健診に同行した祖父 その 乳

#### DMO設立に向けた スケジュールは





(市民連合クラブ)

りも重要と考えており、

秋ごろまでに見通しをつ

たいと考えています。

田百合子

観光商工部長 う進めるのか。

企業から

人材の確保をど

マーケティングなどがで

きる人物像を思い描いて 策定や活動のリードがで

ます。また中核人材の

る専門知識を持ち、

戦略

員に糖尿病予防対策

源の発掘から誘客に関す

育成や中期的な組織づく

### 実態は。 糖尿病患者数の

庁への候補法人登録申請、 成31年2月末までに観光 立公園協会の各総会でご 市観光協会と十和田湖国 観光業務の移行について 織化に向けた取り組みと O 組 0) 827人 平成27年度から29年度ま 透析患者数は12 糖尿病に起因する人工 者数は1709人、 での各年度の糖尿病患 加入者の状況によると、 民生部長 加しています。 15 人 と、 1891人、 国民健康保険 それぞれ 人、

理解いただきました。

増 糖尿病性腎

3月末までに法務局

法人登記を完了させ、

4

う取り組んでいきます。 月から業務開始できるよ は。 の重症化予防の取り組み

りつけ医と連携し、 を促します。 V 診者や治療中断者に受診 をもとに、 の移行を防止します。 データや診療報酬明 の患者に保健指導を行 腎不全・人工透析 医療機関未受 特定健 また、 康 治療 河細書 かか

してもらう可能性を検討 きる専門的な人材を派遣

しています。

地域観光資

医師が従事し、必要に応 早期発見・治療に向け、 り組みと何が違うのか。 養士も従事し、測定結果 じて受診を勧めている点 ペーンは、これまでの取 事業の血糖値測定キャン 健康福祉部長 看護師・保健師・栄 糖尿病の

1 糖尿病の早期治療で 人工透析回避へ